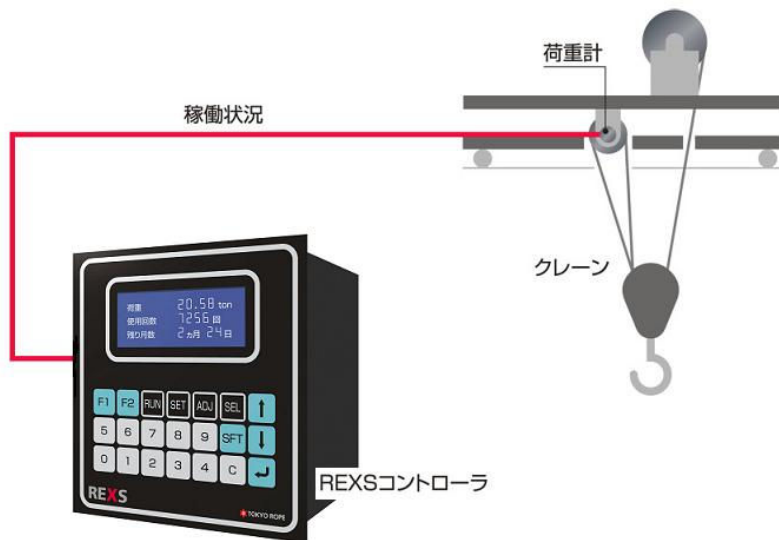


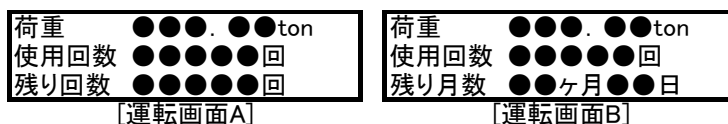
ワイヤロープ寿命管理コントローラ「REXS」発売について

この度当社は、煩雑なロープ管理を大幅に簡略化できる、ワイヤロープ寿命管理コントローラ「REXS (Rope EXchange Support system)」を開発し、3月5日その特許出願手続きを終えたことに伴い本格販売を開始します。本特許は新日本製鐵株式会社との共同出願です。



通常、クレーンのロープ交換は、期間、吊り回数等による管理が一般的です。簡便なのでロープ管理手法の主流となっていますが、稼働率や吊り荷重の変化等によりその周期の信頼性が揺らぐと、事故につながる危険性があります。そのため、一般的には安全サイドの周期でロープ交換しているケースが多くなります。

「REXS」は、ワイヤロープの寿命を、使用するロープや設備の諸条件から回数として算定し、荷重計によって得られる実際に荷揚げした重量から、その都度使用回数を計算して減算し、残り回数を算定していきます。そのシステム構成は極めてシンプルであり、荷重計付きのクレーンであれば、REXSコントローラとの信号ケーブルによる接続のみでOKです。コントローラ表示部には運転画面が下図のように表示され、稼働中のロープの使用回数や残寿命を一目で確認できます。



又「REXS」は、稼働状況(使用頻度)を平均化して、残り回数を残り月数に計算して引き直し、表示することもできます(運転画面B)。更に吊り上げ時の最大荷重(Tmax)による補正係数を入力することにより、ショック荷重を加味した管理を行うことも可能です。

ワイヤロープのトップメーカーとして弊社は、2007年10月に究極のCBM(注1)ツールともいえるロープテスタによる常時監視システム「SEMSOR」を発表いたしました。今般それに加え究極のTBM(注2)ツールと位置付ける「REXS」を市場投入します。

今後も、ワイヤロープのトップメーカーとして、ロープ生産のみならずロープ管理の分野でも業界をリードする技術開発、提案をいたします。

注1: **Condition Based Maintenance** 状態基準保全。ロープの状態(Condition)を確認して交換する手法であり、確認方法としては目視による断線確認、径測定その他ロープテスタを使用することもあります。

注2: **Time Based Maintenance** 時間基準保全。ロープ交換を一定の周期で行う手法で、期間による管理が最も一般的ですが、吊り回数等で管理することもあります。

<連絡先>

東京製綱株式会社 新事業推進グループ

TEL 03-6366-7733 FAX 03-3278-6870